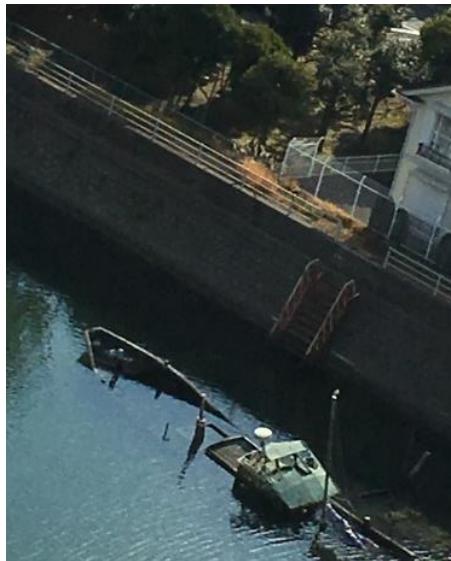


12月議会 一般会計 補正予算



浦安市の母なる川 境川の沈没船45隻撤去へ

新庁舎かう見える
境川の沈没船

境川沈没船撤去費用内訳	
直接工事費	4300万円
撤去・陸揚げ	
解体・処分	
一般管理費	2400万円
消費税	536万円
合計	7236万円

沈没船について、これまで市民から「撤去してほしい」と日本共産党へ要望をいただき、機会あることに市へ要求してきました。

新庁舎が完成し、境川の見晴らしがとても良くなり沈没船がより目につくようになつたため、市民から撤去の要求が多くなりました。

境川の沈没船が何隻あるのか調査が行われ、45隻も沈んでいることがわかりました。そのうち7隻は船舶番号が確認できるため所有者が特定できるとしています。

12月議会の一般会計補正予算には境川の沈没船の撤去費用として7236万円が計上されています。（左下表参照）

千葉県も撤去費用の負担を！

なぜ、浦安の場合県負担しないのか、県担当者は「費用の面から対応に苦慮している」と言います。ところが、県が管理者となつている港湾地域の千葉港葛南西部地区に位置している市川水路の沈没船の撤去は県の負担で行われています。

撤去費用に7236万円

境川は全国的にまれな 千葉県と浦安市が管理者

境川は1級河川ですので千葉県が管理者です。

そして、利用範囲が地元の漁業を中心とする市町村が管理する第1種漁港として浦安市が指定しており、市も管理者となっています。

沈没船の撤去費用については、県と市どちらも負担して良いことになつています。

浦安市は日本共産党の「千葉県にも費用負担を求めるべきである。」という指摘に對して、県は①一時仮置き場の貸与、②廃棄物の認定、③再発防止の看板の設置やパトロールを行い、撤去の費用負担は一切行わず、市の費用負担で撤去することが、日本共産党の質疑で明らかになりました。

12月議会都市経済常任委員会にて浦安市の母なる川と言われている境川の沈没船の撤去について質疑致しましたので報告いたします。

週刊 市議会報告

2016年12月12日

第1396号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎&FAX
350-1243



市議会議員
入船 4-37-14
☎355-8526
minamotonton@jcom.home.ne.jp



市議会議員
北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5misi@jcom.home.ne.jp